

視察研修・研修会等報告書

議席番号〔 9 〕議員名〔 森 哲士 〕

1 年 月 日	令和8年2月3日～4日（白数 1泊 2日）
2 場 所	京都府京丹後市
3 視察・研修事項	京都京丹後市、総合交通施策とささえあい交通
4 面 接 者	京丹後市議会・政策企画課 NPO 法人気張る！ふるさと丹後町
5 視察研修、研修会の成果	
<p>1. 京丹後市の公共交通について （バス運行事業者の運転士不足や採算の取れない路線により廃止せざるを得ないバス路線が出てきている事を克服するための施策） 第3次京丹後市総合計画と公共交通の取組み 便利で持続可能な公共交通の実現 基幹交通の交通体系の基軸を強化するため低額運賃を導入（200円バス・200円レールの展開） ささえ。安心・安全で誰ひとり置き去りにしない支え合いのまちづくりのため、京丹後版MaaSの推進。 AIによるオンデマンド運行の展開（新京丹後MaaS共創プロジェクトの取組）による公共ライドシェアささえあい交通（UBER アプリ活用）とMobi（事前予約型乗合タクシー）運行の取組着手</p> <p>2. 公共ライドシェア「ささえあい交通」について 運行主体：NPO 法人「気張る！ふるさと丹後町」の設立に至る経緯と主な活動経歴 京丹後市での最も人口が少なく市内中心地に一番遠い地区の取組み 交通空白地有償運送（法律制度と地域公共交通会議の承認と国交省への登録） 地元の住民ドライバーがマイカーを使って運行 スマートフォンでUberのアプリを使って即時配車 ドライバー確保・運行区域・料金・支払方法・運行時間・講習会開催などについて説明を受けた。 下呂市も京丹後市と似たような地域で、ライドシェアは今後、有効な交通手段となると感じた。 京丹後市の公共交通に対する取組みは、将来の市の現状を見越した前向きな取組みと感じた。</p>	